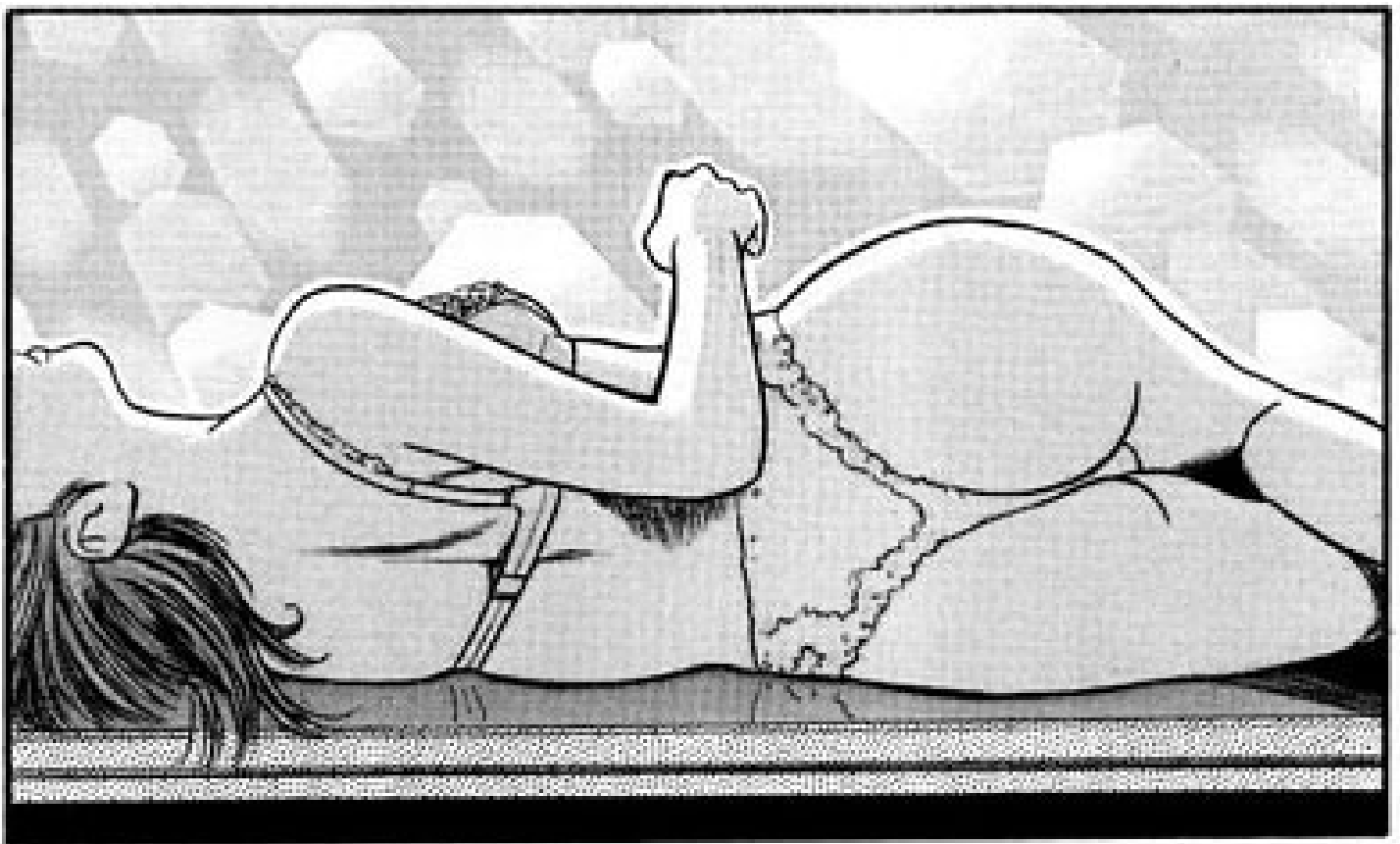
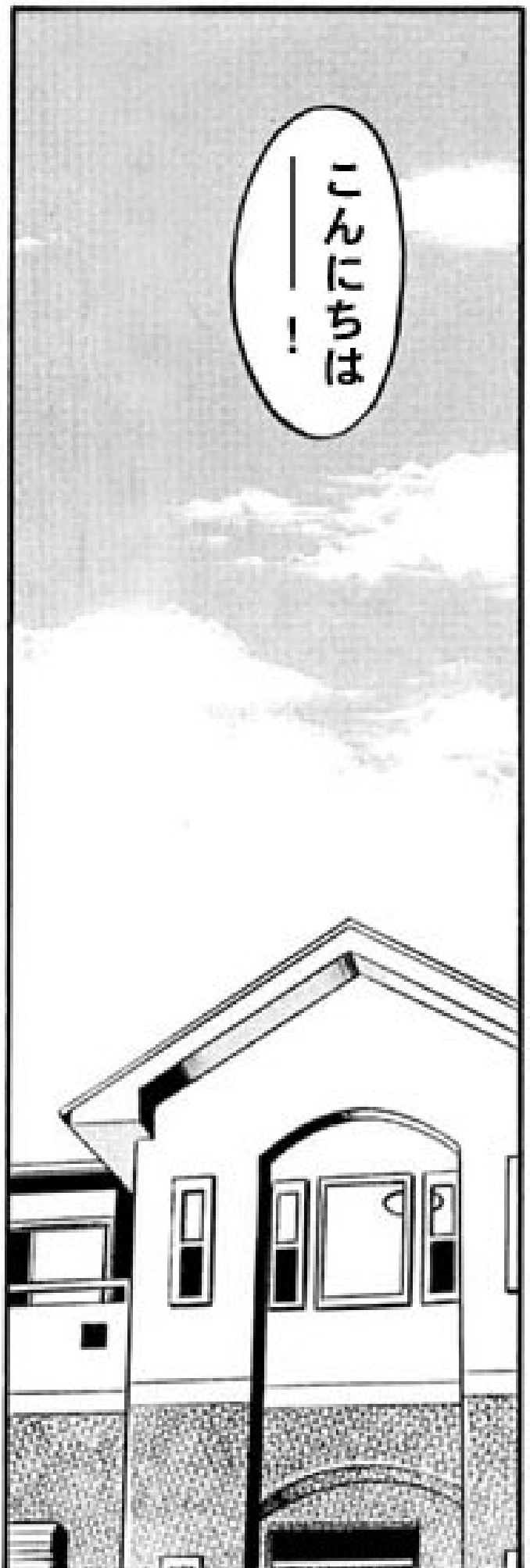


知り合いの人妻 vol. 3

午後のレッスン



烏賊松







俺は今大学一年生で
小学六年生の女の子
麻美ちゃんの家教師を
週三回やっている

童貞だった



せっかくだから

少し
休んで
いってね ♡



今日は
ごめん
なさい
携帯へ連絡
すれば
よかったわ

いやあ...



あ...



大学生
なんだから

ビールぐらい
飲める
でしょ？



え...ええ
まあ

ちよっと
なら...







実を言うと
以前から俺は
この奥さんの事が
好きだった



色々な妄想を
巡らせ

何度オカズに
させてもらったか
数えきれない
くらいだ



それでも
突然こんな
展開になると

頭がパニックで
何をどうすれば
いいのか全く
分からなかった



そして
奥さんに誘われるが
ままに寝室へ
入って行った







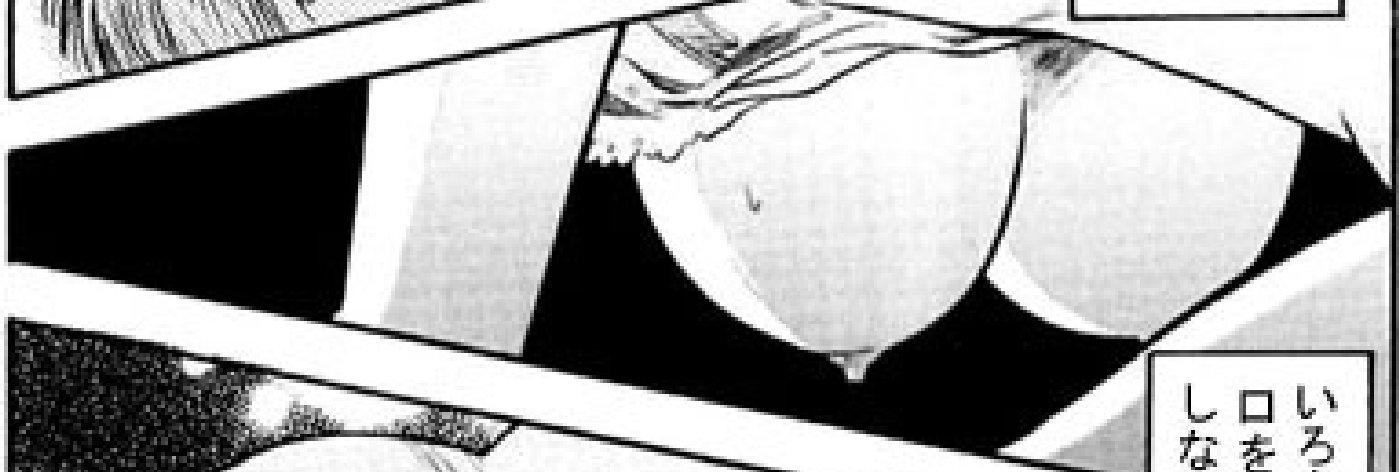


何もかもが
初体験だった俺は
夢中でさゆりに
むしやぶりついた



大きくて柔らかい
おっぱい
熱くうめく
おま〇

んぐ
んぐ



いろんな体液で
口をベトベトに
しながら



俺は
目の前の
熟れた女体に
溺れていった...

気が付いた時
さゆりは俺の
上に乗り



いやらしく
腰を動かして
いた

その想像を超えた
あまりの気持ち
良さに俺は

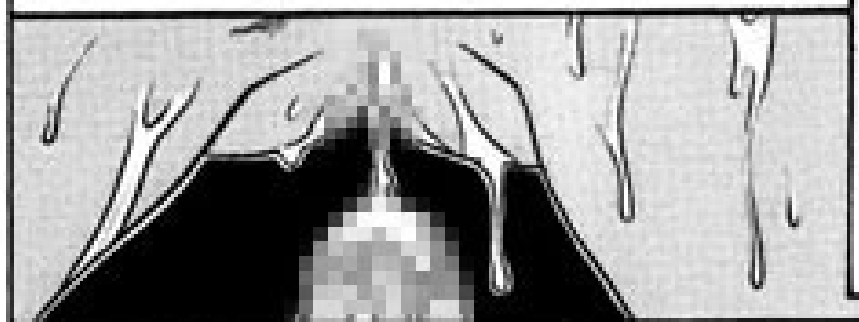


あえなく
さゆりの腔内へ



ぶちまけた…

それからと
いうもの



娘の家庭教師を
する日は
今までより早めに
出向き

家庭教師
さゆりに



性のレッスンを
受けている…